

適切なオーサーシップと共同研究のための 最強のソリューション — 心理言語学の立場から —



三輪晃司

12/14/2022

名古屋大学 人文学研究科 FD

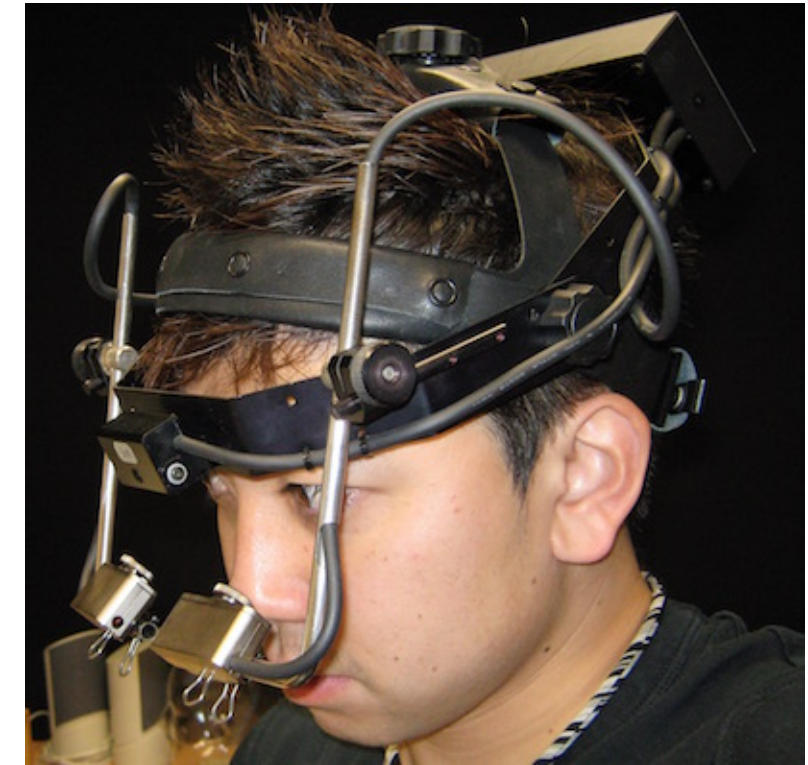
今回の FD に参加してほしい人



-  共著より単著の方が価値が高いと考えている人
-  単著で論文／本を書いており、他人の助けを借りている人
-  共著で論文／本を書いており、オーサーシップをなんとなく流れで決めている人
(オーサーシップを決めるガイドラインを持っていない人)
-  研究指導とオーサーシップを一緒に考えていない人

自己紹介

- アカデミアの世界で物心ついた時から共同研究をしてきた心理言語学者（専門は単語認知）です。
- PLOS ONE, Frontiers in Psychology でエディター（25本）
BLC, BRM をはじめとする心理・言語系雑誌で査読（51本）
- アルバータ大学（カナダ）で学部～大学院時代を過ごし、
チュービンゲン大学（ドイツ）でポスドク時代を過ごしました。
- 学生時代から今まで、共同研究率100%です。これまで73人の研究者と共同研究をしてきました。



謝辞

- 学生時代、Drs. Harald Baayen, Ton Dijkstra, Gary Libben, Patrick Bolger, Sally Rice との共同研究で「常識」を学びました。



- オーサーシップに関する同僚の先生方との雑談も参考になりました。

アジェンダ



1

人文学と共同研究

2

オーサーシップの決め方

3

オーサーシップと研究指導

4

適切なオーサーシップと共同研究のための最強のソリューション

1

人文学と共同研究

現状



-  近年、共同研究がより盛んになっています（国際共著、産学連携、学際的研究）。
-  心理言語学分野においては、研究の規模が大きくなっており、言語や文化間の比較も増えてきました。
-  研究で求められる技術もより高度になっています
（例：脳波・視線・瞳孔計測等の実験手法、一般化線形混合効果モデル等の分析手法）。
-  研究を突き詰めていくと、隣接する学問分野との共闘が有益になります
（例：心理言語学と社会心理学、心理言語学と AI研究）

共著と単著の業績比較



-  文系分野では共著より単著の方が評価されるという風潮が見られますが・・・
-  これは大人版「ひとりでできるもん」 でしょうか？ パジャマを一人で着られる子供が偉いように、研究を一人で遂行できる大人は偉いのでしょうか？
-  競泳用の水着レーザーレーザーの着用を手伝う人とパジャマを一人で着られる人はどちらが偉いのでしょうか？
-  通常、共同研究は一人ではできない（大きな）仕事をしており、（特に第一著者は）一人の仕事量が少ないわけではありません。

私の体験談： 共同研究



-  そもそも人生の問題のほとんど（というより全て？）は人間関係からくるので、やみくもに共同研究を始めることにはリスクがあると思われます。
-  同じトピックに取り組んでいても、アプローチが異なる研究者とは共同研究しづらいです。
-  共著者は一歩引いて研究を楽しむくらいの姿勢がちょうど良いと思います。
-  失敗例はあまり報告されないため、共同研究成功者の体験談には生存者バイアスがあることも注意です。

私の体験談： 共同研究



-  大学院生が教員に（世界的に著名な海外の研究者であっても）に共同研究をお願いすることは失礼ではありません。
-  日本は文化的に独特です（例： 国際学会で Miwa, Dijkstra, Libben, & Baayen, 2012 の発表を見た日本の先生が一言・・・）。

2

オーサーシップの
決め方

Publish or Perish の世界で

-  教員は研究費の獲得のため、昇格のため、報酬のため、論文の本数稼ぎに必死です。
-  大学院生も奨学金獲得、就職のため、業績作りに必死です。
-  そんな Publish or Perish の世界では研究不正が絶えることはありません。

Publish or Perish の世界で

■ オーサーシップの問題は「研究不正」ですので、正しい理解が必要です。

令和3年3月2日 昭和大学 医学 (捏造、改ざん、不適切なオーサーシップ)

令和3年12月2日 鳥取大学 農学 (盗用、不適切なオーサーシップ)

令和3年12月22日 久留米大学 医学 (二重投稿、自己盗用、不適切なオーサーシップ)

令和4年4月22日 摂南大学 経営情報 (サラミ出版、多重投稿、不適切なオーサーシップ)

■ 真っ当に仕事をした人が正当に評価されて著者リストに加えられることが理想ですが、現実はどうでしょう？

オーサーシップの決め方

-  本質的な貢献をして、研究内容を理解して、原稿を校閲して承認した人のみ、貢献した順に著者リストに名前を入れます。
-  それ以外の貢献をした人は謝辞でお礼を伝えます。

以上！

-  問題は・・・ 何をもって「本質的な貢献」をしたとみなすかです。

問題のあるオーサーシップ

THE AUTHOR LIST: GIVING CREDIT WHERE CREDIT IS DUE

The first author
Senior grad student on the project. Made the figures.

The third author
First year student who actually did the experiments, performed the analysis and wrote the whole paper. Thinks being third author is "fair".

The second-to-last author
Ambitious assistant professor or post-doc who instigated the paper.

Michaels, C., Lee, E. F., Sap, P. S., Nichols, S. T., Oliveira, L., Smith, B. S.

The second author
Grad student in the lab that has nothing to do with this project, but was included because he/she hung around the group meetings (usually for the food).

The middle authors
Author names nobody really reads. Reserved for undergrads and technical staff.

The last author
The head honcho. Hasn't even read the paper but, hey, he/she got the funding, and their famous name will get the paper accepted.

JORGE CHAM © 2005

WWW.PHDCOMICS.COM

問題のあるオーサーシップ



-  学生の単著より教員が共著者となった方が論文が読まれるから教員がギフトオーサーシップを得る。
-  実験に必要な機器や資金援助をしたという理由で教員がギフトオーサーシップを得る。
-  仲間内でギフトオーサーシップを与え合う。
-  教員が多大な時間や労力を捧げたのに、大学院生が単著で出版する（ゴーストオーサーシップ）。

オーサーシップガイドライン（APA）

-  American Psychological Association（APA）はオーサーシップを決めるためのガイドラインを提供しています。
-  まず、研究を複数の要素に分けます： 研究の発案、研究デザインの構築、文献探し、実験プログラムの作成、実験の実施、データ分析、結果の解釈、論文執筆
-  それぞれの要素にどれくらいの労力・時間を必要とするのか理解します。

オーサーシップガイドライン (APA)

Activity Category	Total Points	Contributor Score				
		Initials				
Conceptualizing a research idea	90					
Refining/ crystalizing a research idea	60					
Literature search: Summarizing literary pieces (e.g., articles, book chapters, etc.)	20					
Creating a research design (e.g., counterbalancing, randomization to conditions, survey design etc.)	80					
Selecting an Instrument/ a measure: Instrument construction	30					
Selection of statistical tests/analyses	40					
Performing statistical analyses and computations (including computer work)	40					
Interpretation of statistical analyses	80					
Manuscript						
Writing an introduction section	90					
Writing a methods section	80					
Writing results section	80					
Writing discussion section	100					
Writing conclusive summary	60					
Writing limitations of the study	60					
Writing future directions of the study	60					
Managing Submission Process						
Responding to reviewers' feedback	10					
Making changes based on reviewer feedback	60					
	Total Score					

Gaffey (n.d.)
Winston (1985)

オーサーシップガイドライン (APA)

Activity Category	Total Points	Contributor Score			
		Initials			
Conceptualizing a research idea	90	TM	KM		
Refining/ crystalizing a research idea	60	80	10		
Literature search: Summarizing literary pieces (e.g., articles, book chapters, etc.)	20	30	30		
Creating a research design (e.g., counterbalancing, randomization to conditions, survey design etc.)	80	15	5		
Selecting an Instrument/ a measure: Instrument construction	30	40	40		
Selection of statistical tests/analyses	40	15	15		
Performing statistical analyses and computations (including computer work)	40	10	30		
Interpretation of statistical analyses	80	30	10		
Manuscript		50	30		
Writing an introduction section	90	85	5		
Writing a methods section	80	75	5		
Writing results section	80	75	5		
Writing discussion section	100	90	10		
Writing conclusive summary	60	55	5		
Writing limitations of the study	60	55	5		
Writing future directions of the study	60	55	5		
Managing Submission Process		5	5		
Responding to reviewers' feedback	10	50	10		
Making changes based on reviewer feedback	60				
Total Score		815	225		

NOTE: This table is adapted from that found at <http://www.apa.org/science/leadership/students/authorship-determination.pdf>

Gaffey (n.d.)
Winston (1985)

オーサーシップガイドライン (APA)

Activity Category	Total Points	Method of Assigning Points*	Contributor Score (the total of these columns should equal the <i>Total Points</i> column)				
			Initials				
Conceptualizing and refining research ideas	50	Q					
Literature search	20	T					
Creating research design	30	Q					
Instrument selection	10	Q					
Instrument construction/questionnaire design	40	Q/T					
Selection of statistical tests/analyses	10	Q					
Performing statistical analyses and computations	10	T					
Collection and preparation of data (gathering, scoring/coding, entering)	40	Q/T					
Interpretation of statistical analyses	10	Q					
Drafting manuscripts/posters							
First draft	50	T					
Second draft	30	T					
Redraft of a page (on later drafts)	2	T					
Editing manuscript	10	T					
		Total Score**					

Gaffey (n.d.)
Winston (1985)

オーサーシップガイドライン (APA)

Activity Category	Total Points	Method of Assigning Points*	Contributor Score (the total of these columns should equal the <i>Total Points</i> column)				
			Initials				
Conceptualizing and refining research ideas	50	Q	TM	KM			
Literature search	20	T	45	5			
Creating research design	30	Q	15	5			
Instrument selection	10	Q	15	15			
Instrument construction/questionnaire design	40	Q/T	5	5			
Selection of statistical tests/analyses	10	Q	20	20			
Performing statistical analyses and computations	10	Q	5	5			
Collection and preparation of data (gathering, scoring/coding, entering)	10	T	5	5			
Interpretation of statistical analyses	40	Q/T	35	5			
Drafting manuscripts/posters	10	Q	5	5			
First draft	50	T					
Second draft	30	T	45	5			
Redraft of a page (on later drafts)	2	T	25	5			
Editing manuscript	2	T	1	1			
	10	T	8	2			
Total Score**			229	83			

*Q = points assigned on qualitative criteria; T = points assigned based on proportion of total time expended on the task or on proportion of total time expended on the task

Gaffey (n.d.)
Winston (1985)

オーサーシップガイドライン (APA)

-  最低何ポイントを獲得すれば著者リストに入れるのか理解しましょう (APA は 50 ポイントを提案 = 研究全体の 16% の貢献)。
-  しかし、研究全体に占める個々の研究者の貢献の割合で評価をする方法は注意が必要です。
-  ある項目は質的な貢献で、ある項目は量的な貢献であることも注意が必要です。
-  昔と今では、個々の項目の重要度が異なる点にも注意が必要です (例：統計分析やデータ採集により多くの技能や時間を要する)。

オーサーシップガイドライン (APA)

- 複数人の著者の貢献を明記しなくてはならないジャーナルもあります。

Author contributions

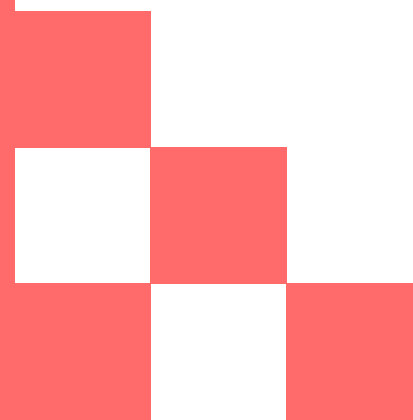
VE and MM designed the study. VE collected and analysed the data with support from MM and MS and wrote the first draft. BV and MS wrote and edited specified sections of the manuscript. BV supported VE in translating the results and linking back to theory and recent empirical research. All authors were involved in the production of the final manuscript, reading, and approved the final submitted version.

私の体験談： オーサーシップ

-  心理言語学研究では基本的に貢献度の順に最初から名前を並べますが、人によっては最後に名前を連ねたい人もいます。
-  心理言語学分野では論文の根幹にかかわる程度のデータ収集と論文の執筆／修正に貢献し、内容に責任をもつことが最低レベルの貢献とみなされています。
-  査読が始まってから第二著者になったこともあります (Dijkstra, Miwa, Brummelhuis, Sappeli, & Baayen, 2010, *JML*).
-  現在査読中の論文では (55人中) 36番目の著者です。中盤の共著者はアルファベット順です。APA のガイドラインはこの規模の共同研究には素直に適用できません。

3

オーサーシップと
研究指導



指導教員と大学院生の関係



-  研究指導、学位論文審査に関して、指導教員と学生の関係は対等ではなく、基本的に「指導教員 > 学生」
-  論文の出版に関して、大学院生が第一著者になる場合、指導教員と学生の関係は「学生 > 指導教員」
-  力関係がねじれているようですが、お互いが同格の存在として、ロジカルに議論ができれば問題ないと個人的には思います。
-  アルバータ大学（カナダ）時代、大学院初日に学科長が「大学院生は Junior Colleague として教員と同格の存在として付き合います」と一言。

三輪ラボでの指導： 主指導教員として



-  ラボの使用言語は基本的に英語で、指導教員をファーストネーム（Koji）で呼びます。
-  研究指導初日に、SSCI にリストされているIF付きの国際誌に共著で論文を出版することについて学生の同意を得ます。
-  基本的に学位論文の完成ではなく、国際誌での出版を目指してもらいます（国際誌に掲載されるレベルの論文なら学位論文として成立するから）
-  基本的に個別に毎週90分のミーティングを行い、大学院生の作業を確認します。週に複数回行うこともあれば、1日に5時間ほど作業することもある。

三輪ラボでの指導： 主指導教員として



-  学生が指導教員に仕事を振ることもある（例： データ採取の補助、実験アイテム作成の補助、データ分析の補助）。
-  学生の仕事に致命的な問題があると指導教員が判断したら、ロジカルに学生を説得する（説得に応じなければ、指導教員がオーサーシップを放棄する可能性もある）。
-  アプローチとしてどちらを選んでも大きな問題がない2択がある場合は指導教員の意向よりも第一著者である学生の意向を優先させる。
-  学生が指導教員以外の（学内・学外問わず） 研究者と共同研究をすることは自由。許可を得る必要もない。むしろ推奨されている。

三輪ラボでの指導： 副指導教員として



-  アルバータ大学（カナダ）では副指導教員なるものはありませんでしたが、私は主指導教員2名（co-supervisors）の指導を受け、一緒に共著論文を出版しました。
-  副指導教員を「タダでアドバイスを求めることができる、いつでも頼れる便利な存在」と考える大学院生がいますが・・・違います。
-  私は副指導教員になる際にオーサーシップに関する確認もします。

三輪ラボでの指導： 副指導教員として



From: MIWA Koji <miwa.koji.n8@f.mail.nagoya-u.ac.jp>

Sent: Thursday, November 3, 2022 12:04 AM

To: [REDACTED]

Subject: Re: Thank you for becoming my sub-supervisor

Hello [REDACTED],

No problem, but please note that I agreed to serve as your sub-supervisor but did not agree to become a co-author of your project. For this reason, I hope that you will primarily work with your supervisor without asking for my assistance.

In the future, in case you need my assistance to a significant extent, please understand the APA authorship guideline and let me know.

<https://www.apa.org/science/leadership/students/authorship-paper>

All the best,

Koji

4

適切なオーサーシップと
共同研究のための
最強のソリューション

私の裁判体験談 in Canada

-  大学院生時代、ルームメイトに（高価な）自転車と自転車用ロックを貸しましたが、ルームメイトは自転車用ロックを適切に使用せず、私の自転車は盗られました。
-  一銭も弁償しないというルームメイトを相手に、私は \$1000を求める裁判を起こしました。
-  アルバータ州裁判所で行われた裁判にて、私の提出した3点の証拠のうち1点が却下され、敗訴となりました。

私の裁判体験談 in Canada

-  そもそもこの自転車裁判は 「自転車を貸す前に私が相手側にルールを与えなかったこと」 で困難が生じました。
-  □約束や常識は裁判の場では通用しませんでした。
-  アカデミアでの共同研究も同様に、事前にルールを設定しておくことで問題を防ぐことができます。
-  APA は Contract Regarding Publication Intent を提供しています。

最強のソリューション：研究開始前に契約を交わす

Contract Regarding Publication Intent

We hereby enter into an agreement, as outlined below, regarding the publication of the project tentatively titled: Horizontal Policy and Vertical Policy

FIRST AUTHOR

Name (print): TIENH NINH PHU

Signature: [Signature]

Percent effort: 70

Activity Score:

Brief description of basic responsibilities/role on project:

conceptualizing, designing, programming, collecting data,
analyzing data, writing.

SECOND AUTHOR

Name (print): Koji Miwa

Signature: [Signature]

Percent effort: 30

Activity Score:

Brief description of basic responsibilities/role on project:

weekly supervision in designing the research, programming the experiment,
collecting data, analyzing the data, and writing a manuscript

34

最強のソリューション：研究開始前に契約を交わす

FOURTH AUTHOR

Name (print): _____ Signature: _____

Percent effort: _____ Activity Score: _____

Brief description of basic responsibilities/role on project:

It is agreed that authorship order may be renegotiated should an individual's responsibilities substantially change, or should an individual fail to perform their role as stated above. Furthermore it is agreed that if the project involves a student milestone, the manuscript (MS) or poster must be submitted for possible publication no later than 12 months from the date of the successful defense of the project. Should the manuscript not be submitted within 12 months time, it is agreed that the faculty supervisor will take primary responsibility for submission of the manuscript and will become first author.

Date contract signed: 12.13.2018

Expected date of data completion: _____

Expected date of MS/poster submission: _____

Date project actually complete: _____

Date MS/poster submitted: _____

最強のソリューション：研究開始前に契約を交わす

-  「修士／博士論文の口述試験から１２ヶ月以内に研究が出版に向けて提出されない場合、指導教員が第一著者となり、研究を完遂させる」 旨にも同意してもらいます。
-  契約書があれば、指導教員が不当にオーサーシップを奪取したと非難されませんし、本質的な貢献をしない指導教員がギフトオーサーシップを得ることもありません。
-  「～するという約束だったのに」という口約束やら 「普通は～するでしょう」という常識に関する問題も起こりません。
-  契約書を使用しなくても、形が残るものでオーサーシップの確認をしましょう。

まとめ



-  研究を構成する要素を列挙し、それぞれの要素で必要とされる労力や時間を把握しましょう。
-  どれだけの労力や時間を提供すればオーサーシップを獲得することができるのか理解しましょう。
-  誰がどのような貢献をどの程度するのか、研究を始める前に著者全員で話し合って暫定的な著者順を決めましょう。

参考文献



- Cham, J. (2005). The author list: Giving credit where credit is due. Retrieved December 12, 2022, from https://phdcomics.com/comics/archive_print.php?comid=562
- Dijkstra, T., Miwa, K., Brummelhuis, B., Sappeli, M., & Baayen, R. H. (2010). How cross-language similarity and task demands affect cognate recognition. *Journal of Memory and Language*, 62(3), 284-301.
- Else, V., Van der Heijden, B., Smith, M. A., & Moss, M. (2022). Examining the role of employability as a mediator in the relationship between psychological capital and objective career success amongst occupational psychology professionals. *Frontiers in Psychology*.13:958226.
- Gaffey, A. (n.d.). *Determining and Negotiating Authorship*. Retrieved December 12, 2022, from <https://www.apa.org/science/about/psa/2015/06/determining-authorship>
- Miwa, K., Dijkstra, T., Libben, G., & Baayen, R. H. (2012, October). *The time-course of lexical activation in Japanese two-character word recognition: An eye-tracking lexical decision study*. Presented at the International Conference on the Processing of East Asian Languages (ICPEAL), Nagoya, Japan.
- Winston, Jr., R. B. (1985). A suggested procedure for determining order of authorship in research publications. *Journal of Counseling and Development*, 63, 515-518.